

## 京都府木津川における繁殖中のイソシギ成鳥とヒナの標識記録

脇坂英弥・中川宗孝

Banding Records of a Fledgling and a Breeding Adult Common Sandpiper  
*Actitis hypoleucos* on the Kizu River, Kyoto Prefecture, Japan

Hideya WAKISAKA and Munetaka NAKAGAWA

イソシギ *Actitis hypoleucos* はユーラシア大陸の中・高緯度地方に広く繁殖分布し、アフリカ大陸中南部からインド、中国南部、東南アジア、オーストラリア大陸で越冬する（中村・中村 1995）。日本では北海道、本州、四国、九州、琉球諸島の河川敷や湖沼で繁殖する（日本鳥学会 2000）。しかし、近畿地方では留鳥として生息しているものの、繁殖記録は兵庫県の武庫川および和歌山県の有田川であるにすぎず（山岸 2002）。京都府での繁殖確認は示されていない。京都府企画環境部（2002）によれば、近年木津川で繁殖が確認されたと述べているが、具体的な繁殖例や出典についての記述がない。筆者らは京都府城陽市の木津川において、抱卵中のイソシギの成鳥とヒナを確認したので、京都府における初標識記録および確実な繁殖例として報告する。

木津川河川敷には砂礫地が広がり、ところどころにヨシやヤナギが小規模な群落をなしている。また高水敷は畑地や球技用グラウンドとして利用されている。イソシギのヒナと巣が確認された地点（北緯 34 度 52 分、東経 135 度 46 分）は、いずれも水際から 80 ~ 100 m ほど離れた砂礫地でイネ科草本が疎密に生えていた。

まず、2002 年 6 月 8 日 17 時 30 分頃、右岸河川敷において、イソシギ成鳥 1 個体について歩くヒナ 3 個体を発見した。そして、低茎草地の際でヒナ 1 個体がうずくまるのを確認したので、それを手捕りした（図 1）。捕獲後は環境省の標識調査用金属足環を付け、外部計測と写真撮影をおこない速やかに放鳥した。放鳥後間もなくして、親鳥とヒナが合流したのを確認した。測定値は自然翼長 42.0 mm（初列風切および次列風切は伸長中）、ふ蹠長 25.2 mm、体重 23.0g であった。

次に、翌年 2003 年 5 月 27 日、左岸河川敷において、イネ科草本の生え際に外径約 90mm の円形をなしたイソシギの巣を発見した。巣内には浅いくぼみを設けて枯れ葉や草の茎を敷きつめており、その中に卵が 3 個あった。6 月 1 日にはさらに卵 1 個が産み足されて、計 4 個になっていた。卵は白地に茶褐色の斑紋が一樣に散在していた。6 月 8 日 10 時頃、巣に仕掛けたくくり罠を使っ

---

キーワード：イソシギ、繁殖記録、木津川、京都府。

Key words: Common Sandpiper, Breeding record, Kizu River, Kyoto Prefecture.



図1. 2002年6月8日に捕獲したイソシギのヒナ (左側).

Fig. 1. Fledgling Common Sandpiper caught and banded on 8 June 2002 (left).

図2. 2003年6月8日に捕獲したイソシギの成鳥 (右側).

Fig. 2. A adult Common Sandpiper captured and banded on 8 June 2003 (right).

て抱卵中の成鳥を捕獲した。性別は不明であった。捕獲後は前回と同様に金属足環を付け、外部計測と写真撮影後、速やかに放鳥した (図2)。測定値は自然翼長 108.8mm, ふ癒長 25.3mm, 尾長 55mm, 体重 48.0g で腹部には発達した抱卵斑がみられた。巢内の卵は4個のままであった。

木津川河川敷には本種以外にコチドリ, イカルチドリ, シロチドリ, コアジサシの地上営巣性の鳥類が繁殖しているが, 近年はそれらの営巣数が減少傾向にあるように思われる。そのため鳥類の繁殖期における木津川河川敷への人の立ち入り規制や, 四輪駆動車の乗り入れ禁止といった具体的な保護策を早急に実施することが望まれる。

本論文をまとめるにあたり, 梶田学氏と浦野栄一郎氏に助言をいただいた。ここに記して御礼申し上げます。

## Summary

On 8 June, 2002, one fledgling Common Sandpiper was captured, banded and released on the Kizu River (34° 52' N, 135° 46' E) in Kyoto Prefecture, Japan. On the same date the following year, a breeding adult Common Sandpiper was captured, banded and released, using a slipknot loop trap. Common Sandpiper breed across the middle and higher latitudes of the Eurasian continent. In Japan, they breed around lakes and marshes, and on river gravels, from the Ryukyu Islands north through Hokkaido. Even though they are resident in the Kinki Region, breeding records to date had been limited to Hyogo and Wakayama Prefectures, and these reports are the first for Kyoto Prefecture. The flood plain of the Kizu River consists of gravel interspersed with small patches of reeds and willows. The breeding sites were all located between 80 to 100 meters

from the river, on gravelly soil protected by dense grasses. In addition to Common Sandpiper, Long-billed Ringed Plover, Little Ringed Plover, Snowy Plover and Little Tern also nest along the Kizu River. Currently, these breeding grounds are thought to be diminishing. Conservation measures, such as establishment of seasonal sanctuaries and strict regulation of off-road vehicles, are urgently required.

#### 引用文献

- 京都府企画環境部 2002. 京都府レッドデータブック上巻, 京都府企画環境部, 京都市.  
中村登流・中村雅彦 1995. 原色生態日本野鳥図鑑 (水鳥編), 保育社, 大阪市.  
日本鳥学会 2000. 日本鳥類目録改訂第6版, 日本鳥学会, 帯広市.  
山岸哲 (監修) 2002. 近畿地区・鳥類レッドデータブック, 京都大学学術出版会, 京都市.

脇坂英弥 wakisaka@cb.wakwak.com

〒602-0031 京都市上京区裏築地町 84-402

Hideya Wakisaka wakisaka@cb.wakwak.com

84-402 Uratsukiji Kamigyo-ku, Kyoto 602-0031, Japan

中川宗孝

〒610-0111 京都府城陽市西富野南垣内 13

Munetaka Nakagawa

13 Minamikakiuchi, Nishitono, Jyoyo, Kyoto 610-0111, Japan